

# 山 中 だ よ り

山中  
キャッチ  
フレーズ

してもらう  
させられる人から  
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第14号

発行 令和2年9月4日 校長 交久瀬善浩

## ◆◆地域の方に山中生への感謝の言葉をいただきました！！◆◆

9月1日（火）の19時30分頃、地域の方が山中生への感謝のお電話をくださいました。電話の内容は次のようなものです。

『その日（9月1日）の18時頃に、山田中学校の門の前あたりでお電話をくださった方の娘さん（幼稚園児）が自転車で転んで鼻血を出してしまったそうです。その様子に気づいたラケットを持った山中生の女子生徒3人（9月2日に各学級で名乗り出してくれるように依頼したが、誰も名乗り出なかった）が駆け寄って、自転車を起こし、ティッシュなどを提供してくれた。また近くにいた男子生徒も周りの生徒にティッシュを持ってないかと声掛けをしてくれた。その後の3人の女子生徒は自転車を押して青桐保育園まで付き添ってくれて、娘さんが泣き止むまでかかわってくれた。とてもうれしかった。』という感謝の内容でした。



このように山中生が良いことをしたことで、地域の方からお電話をいただけるととてもうれしいです。職員朝礼で先生方に内容を伝えて、生徒が誰か確認してくださいと依頼したとき、すべての先生が笑顔になりました。残念ながら、3人は慎重なのか恥ずかしいのかわかりませんが、名乗り出はくれませんでした。でも、3人の行為は素晴らしい行為ですし、人としてとても大切な行為だと思います。3人へは最大限の拍手を送りたいと思います。

話しは少し変わりますが、みなさんは地域社会の中で生活しています。そして今はまだ地域の大人の方々に守ってもらっています。少なくとも世間では中学生はまだ子どもで、守られるべき存在として認識されています。しかし実際のところ、みなさん中学生は地域社会でもっともっと活躍できるのではないのでしょうか。私は皆さんを見ていて、いろんな場面で皆さんが地域を方々を助けられるだけの力を十分に持っていると思っています。

日本という国は国土の成り立ち上、地震等の災害を避けて通れない国です。そこに加えて、温暖化による豪雨や台風多発等によりさらに災害がプラスされています。ここ数日も立て続けに台風が発生し、沖縄・九州方面に被害が出ています。災害発生前の近所のご年配の方や小さい子どもの避難の手助けや避難所での地域の自主防災の方々の手伝い等々、中学生の皆さんなら十分にできると思います。またそういう非常時でなくとも、みなさんが日ごろから家の近くに目を配っていて、汚れているところがあれば清掃をしたり、自治会の清掃活動に参加したり、地域行事等に参加・協力することは、やろうと思えば簡単にできるはずです。その「やろうとする気持ち」は、ほんの少しの勇気と親切心、責任感（自分が地域社会で生きている一員であるという自覚）がみなさんの心の中にあれば出てくるものだと思います。

地域を良くすることは、自分の生活を良くし豊かにすることに直結します。そうです。地域を良くできるのは、その地域に住む一人ひとりなんです。地域に住む一人ひとりが、自分の住む地域を良くしようという気持ちを持ち、行動することが、その地域を良くし豊かにするのです。そして地域が良くなり豊かになると、それが自分の返ってきて自分の生活も豊かになるのです。そのことを忘れないでください。そして、中学生の今だからこそ、大人になったときの自身の考えの基となるように、地域の方々に協力し、困っている方がいたら勇気を出して手助けし、親切にする心構えをもって行ってください。



ほんのちょっとの勇気をだして、この素晴らしい山中生の輪をどんどんひろげていきましょう！！  
そして、山中校区の地域の方々の笑顔を増やし、みんなが幸せに感じる山中校区を創っていきましょう！！  
それができるのは、あなた方です！！期待しています！！

## ◆◆学園祭（文化祭）の合唱の練習が始まりました◆◆



9月2日（水）から学園祭（文化祭）の学年合唱の練習が始まりました。2日は初めての為にパートを決めたり各パートの旋律を聴いたりしていましたが、3日（木）は本格的に音とりや歌う練習に入りました。各学年ともに最初からとても熱が入っていて、結構よく声が出ていました。もう少し音がしっかり取れてくると、音楽の授業の時のように大きく良く響く声で歌えるようになると思います。体育祭との並行の取組みで、練習時間も例年に比べると極端に少ないことから、なかなか大変だと思いますが、集中して取組み、短時間で成果があげられるようにしてください。



山中生は音楽の授業も含めて、とてもよく声を出して上手に歌えていて、素晴らしいと常々思っています。コロナ禍により例年のようにクラスごとの歌はなく学年合唱の一曲だけとなりますが、その一曲に全力を投入して、あなたの最高の声を今年度は陸上競技場で思い切り響かせてほしいと思います。期待しています。  
（写真は、3年生男子（上）と1年生の女子（下）です。）

## ◆◆教育実習生の実習が終了しました◆◆

8月24日（月）から2週間続いた教育実習が本日9月4日をもって修了します。今年度は、英語科の古川先生（1年生で）と保健体育科（女子）の戸谷先生（全学年女子体育で）の二人が実習を行いました。2・3年生の男子には全く縁のない教育実習となりましたが、校内で見かけて話しをしたりした人もいられるかもしれませんね。実習生は二人ともよく頑張っていて、実習の最後に行く研究授業を見に行きましたが、とても落ち着いてよい授業ができていました。



授業を受けたり、学級担として受け持ちクラスになった人は、とても仲良くなった人もいます。僅か2週間だけなので残念に思う人もいますが、また近所で見かけたら声をかけてあげてください。（右上の写真は、古川先生の英語の研究授業の様子です）

## ◆◆3年生の保護者集会を実施しました◆◆

9月3日（木）、3年生の保護者集会を実施しました。

6月18日に修学旅行の延期とコロナ禍によって急にキャンセルになった場合のキャンセル料等について説明し、その後に参加の申し込みを取りました。その段階では、長野県の飯田方面で1泊を民泊で、もう1泊をホテル泊で実施する予定でした。



しかしコロナの第2波がきたことにより、民泊をされている方々からの不安の声が上がり、現地の観光協会から連絡があって民泊ができなくなりました。そのため、ホテル泊を2泊に変更したり、民泊中に実施する予定だった農業体験もできないのでその代わりに体験学習を探し、3年生の先生が再度下見に行ったりとあたふた状態でした。

また、6月のときに話していましたが修学旅行が直前でコロナ禍により中止となった場合のキャンセル料も枚方市が負担していただけることになったので、安心して進められることとなりました。

バスも概ね二人席に一人掛けで、こまめに休憩をとって換気を行う等で可能な限り3密になることを回避して実施できることになりました。このような修学旅行に関する変更点と実施上の感染防止等についての説明を保護者集会の前半に行いました。

後半は、まじかに迫ってきた進路についての話しを、進路指導主事の辻教諭から行いました。就職や進学、ともにしっかり考えて取り組んでいかなければなりません。進路先決定に向けてしっかりと家庭で話し合ってください。保護者の皆さま、ご協力よろしくお願い致します。